

生物学科セミナー

演題： **走化性センシングにおける
三量体 G タンパク質の役割**

対象

他学科を含む教員と
学生が対象です

月日：2019年7月5日（金）

時間：16:00-17:00

会場：大学院セミナー室 4260

講師： **上村陽一郎 博士**

理化学研究所 生命機能科学研究センター

細胞シグナル動態研究チーム

上級研究員



走化性細胞は化学物質の濃度勾配を感知し、誘引あるいは忌避運動を示す。このような勾配認識には細胞運動を必要とせず、濃度差を空間的に認識していることがわかる。また、走化性細胞は 10 万倍に渡る幅広い濃度域でその差を検出する能力をもつ。

本セミナーでは、細胞性粘菌をモデルとした走化性の勾配センシングについて、三量体 G タンパク質の新しい制御機構を中心にご紹介したい。

世話人：分子発生生物学研究室 村本 哲哉

(内 3303) tetsuya.muramoto@sci.toho-u.ac.jp